

GODO
TOWN TOPICS
2.27

もちのき園 について知ろう！



神戸町障がい者生活介護施設「もちのき園」で、施設の活動について知っていただくことを目的とした「レッツ エンジョイ！『もちのき園』の仲間と！」が開催されました。

施設紹介の後は、ミニコンサート。ゲストに招かれたのは、浅井詠子さん。障がいを持ちながら音楽や書道を学び、母親とともに様々な施設でパフォーマンスを行い、障がい等への理解を深める活動をされています。この日は、ピアノや鼓、打楽器の演奏を披露し、会場を沸かせました。

GODO
TOWN TOPICS
2.26

安心してスポーツを！ ライオンズクラブ様より AED寄贈



池田・神戸ライオンズクラブ様より、AEDの寄贈をいただきました。AEDは、ごうど中央スポーツ公園野球場に設置します。同公園の管理棟には既に1台が設置されていますが、施設の広さと緊急時への利便性向上を考慮し、野球場へ追加導入します。

同クラブの河合豊彦会長は、「ないことを祈りますが、1秒を争う場面で役立てると良いです」と話し、町長は「AEDを使うことになる危険性がある箇所に、十分な配慮をすべく設置をしました。有効に使っていきます」と述べました。

GODO
TOWN TOPICS
3.12

小学校に届け、 地域貢献の図書



株式会社箕浦様が、株式会社大垣共立銀行様の「地域応援私募債」を活用し、町内の小学校へ141冊の図書を寄贈していただきました。このOKB地域応援私募債は、同行の地域貢献活動の一環として、私募債を発行する株式会社等から受け取る手数料の一部を同行が地域の学校や団体などに物品を寄贈するものです。

箕浦浩二会長は「今後も地域に貢献できる企業であるよう努力していきたい」と話し、下宮小の北村直子校長は「大変ありがたい。大切に使います」と感謝を伝えました。

GODO
TOWN TOPICS
3.2

神戸小「いじめノー 友だちいっぱい集会」



いじめや人権について考える「いじめノー友だちいっぱい集会」が神戸小学校で開かれ、全校児童が参加しました。児童らは、人権擁護委員によるスクリーンに映像を映しながら話を進める朗読劇「ぼくのいのち」を鑑賞。

自分は一人ではなく、たくさんの人たちに支えられ成長してきたこと、自分が家族に大切に育てられてきたかけがえのない存在であることなどいのちの大切さを学びました。

GODO TOWN TOPICS
3.20

災害のあった地域へ届け！ アルミ缶等収益金寄付



地震などの災害があった地域の支援の一助となることを目的に2つの小学校から寄付があり、日本赤十字社への受け渡しが行われました。この寄付は日本赤十字社岐阜県支部を通じて、被災地へと届けられます。

南平野小は、1・5・10円玉募金を1年で3回実施し、2万2230円を集めました。環境委員長の名和秀晃さんは「1日でも早く復興するようにこの募金を使ってほしい」と話しました。

北小は、アルミ缶を回収して得た1万円の収益金を寄付。環境福祉委員長の竹中翔波さんは「放送等で呼びかけて集めた。大切にしてください」と寄付金を手渡しました。

GODO TOWN TOPICS
3.11

スポーツ少年団の備品を 寄贈いただきました



池田・神戸ライオンズクラブ様より、町スポーツ少年団へ備品の寄贈をいただきました。平成27年度に続き、2回目となります。今回は、剣道少年団に胴の防具、野球少年団にボールとバックネットを贈っていただきました。

GODO TOWN TOPICS
3.18

神戸の小松菜 収穫体験！



(有)健康やさい村主催のイベント「親子で小松菜の収穫体験に行こう！」が開催されました。このイベントは、神戸町観光農園支援事業の第1号の事案です。当日は20組の親子が参加し、ハウスの中で小松菜収穫に挑戦。初めての作業に苦戦しながらも、親子で協力して上手に収穫を進めました。

さらに、袋詰めの様子も間近で見学したほか、昼食には小松菜が練り込まれた麺を使ったラーメンにも舌鼓を打つなど、神戸町の特産品を五感で味わいました。

GODO TOWN TOPICS
3.16

老人大学講座閉講式 皆勤賞137人、 精勤賞61人を表彰



中央公民館で「平成29年度老人大学講座」の閉講式が開催され、298人が受講しました。本年度最後の講座では、飛騨の玉三郎一座による「舞踊と歌謡トークショー」が行われ、受講者は楽しいひと時を過ごしました。

講座終了後には、皆勤賞と精勤賞受賞者の表彰式が行われ、皆勤賞を代表して高橋勝次さん（横井）と精勤賞を代表して細野光治さん（丈六道）に証書と記念品が贈られました。